



深小時代の窓口出

元深小学校長 坂井吉徳

水沫子集

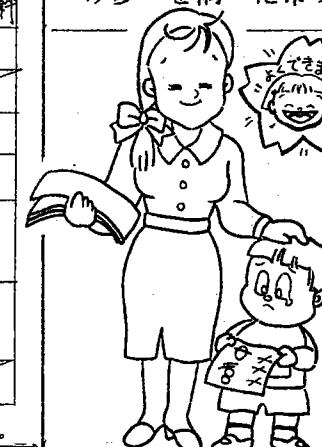
昭和三五年、四年半の深小学勤になりました。私は「中学校には行きたくない」と思つていいたのに、その後、三中は十四年二中に六年と、計二十年間も中学校へ勤めたのですから、人生つて本当に分からぬものです。その三中時代に、水泳のすばらしい選手に出会いました。ミュンヘン・オリンピック大会の游泳で優勝した田口信教君で、授業の時の話です。



呼吸することなく、七五mももぐつても良いですか?「と尋ねました。私も軽い気持ちで、「あいいよ」と言いました。すると、彼は飛び込んだときりました。これには私もびっくりしましたが、彼の肺活量は六千五百ccだと、一流の大人並の力を持つて考案したのです。そんな彼も泳法を作り出すために、一田口キックを作りました。私は知っています。彼との裏話は又の機会にすることにして、深小の水泳についての話を戻します。私は悩んでいた事を、私がため、悩みに悩んでいた事を、

通知表今昔(5)

卷之三



教科の比較			
戦中 昭和16~21年度 帝國民学校		平成14年度・深小学校	
学業成績		学習の記録	
科目	備考	教科	備考
国民科	修身	21年度課題なし	(道徳) 評定なし
	国語		国語
	国史	5年以上	社会 1・2年は生活
	地理	4年以上	生活科 1・2年
理科	算数	算数	
	理科	理科	1・2年は生活
体練科	体操		体育
	武道	高等科	
	音楽		音楽
芸能	習字	評定あり	(習字) 3年以上 評定なし
	図画		図画工作
	工作		
科	裁縫	高等科	
	家事	高等科	家庭 5・6年生
農業	農業	高等科	

\* 戦中は初審科6年の次に高審科が3年ある

あと二年勉強するには、裁縫、家事があつたが今は家庭科とし、五六年生全員が学習する。今、教育界では学習成績を相対評価（本人が学級や学年でどの位置にいるかを表す）か、絶対評価（本人が集団内の位置に関係なく、基準にどこまで到達したかで評価する）にするか話題になつていい。

通知表が叱られる材料になつてはいけない。

子供の持てる能力を引き出すのが教育だと思うが、先生方に個々の子どもたちの努力や進歩のあとがよくわかり、励みになるようなお通知表を作つてほしい。

と切にお願いするものである。

▲(完)▲

图画は、手本をみて絵を描く「臨画」。不得手で大嫌いだつた家ではよく練習させられたのによけいそう思つたのかも知れないと、

○二年くにいえ、○三年三  
海軍しがん ○四年よせ書き  
千人針 ○五年銃後職場奉公  
赤十字傷病兵 ○六年世界永  
遠平和など。  
字をみると、戦中だつたこと  
がよくわかるが、終戦後は一変  
し、「平和」の字が目立つ。  
手本もないので、辞典を引き  
ながら書いたのを覚えている。  
習字は今、「書き方」になり、  
国語に含まれ評定もない。

あの頃は、米は供出の割り当  
てがあり、出荷するので、主食  
の足しに麦をつぶしてさくら麦  
とし、麦飯が常食だった。



今は、健康食として見直されで、学校までの距離が遠いので、幼稚園へ通う子供にムスビを持たしていた。子供に「筋のないご飯が欲しい」とせがまれ、妻も少しでも麦の少ない所を弁当に持たせていた。その後食料事情もよくなり、米だけのご飯となつたが、兼業農家になり、烟作は猪に掘られて駄目になり、換金作物もなくなり、とうとう荒れ地になつてしまつた。田圃も農政で減反を強いためも麦も価格が安く採算がとれず、作付けをやめて荒れ地への一途をたどつてゐる。麦畑の中から「ピー・チク、ピーチク」と鳴きながら、空高くまいあがつていた雲雀(ヒバリ)の長閑(ノドカ)な姿を懐かしく思い出するが、今はどこへ行けば麦畑を見ることが出来るのだろうか。春の華やかないろいろ咲いた花と一緒に生け花として並べられた麦の穂がいとおしく見えてきた。

子ども会だより

子ども会会長 河原光浩

監督	キックベー 部長	砂田恭宏	河原浩	今年度の役員紹介
監督	ソフトボーラー	南ちとせ	新谷宣行	副会長
監督	屋敷和彦	小川和彦	岡村裕之	会長
監督	砂田恭宏	砂田恭宏	岡村裕之	会計
監督	スボーラー	中資史	中資史	ソフトボーラー
				下組組組組組上組組組組中中中中

今年度はこのメンバーで活動していきます。六十九名の子ども達が会員です。  
ソフト部 深町の未来を受け継ぐ子ども達に皆さまのできる限りの愛情をくださいます。よう心よりお願ひ致します。

キ	東	県
シ	宗	力
ク	郷	会
東	宇	于
部	和	選
地	島	
区	地区	
深	大	8
之	会	—
町	四	5
2327	位	
—	—	
2216	—	
系	五月	五月
崎	五日	五日
	深	深
	三原	四月
	小	二十七

※お断り 私の地球サミット  
ト(中組 安藤志保さん)  
の続編は次号に掲載します。